

令和5年度 第2回社会教育委員会 会議録					
開催期日	令和6年1月23日（火） 午前9時30分～10時40分				
開催場所	東別館第一会議室（1階）				
出席状況	委員10名中7名 事務局11名				
傍聴人状況	0名				
主な議題	（1）令和5年度事業中間報告について				
	（2）その他				
席次番号	委員氏名	摘要	席次番号	委員氏名	摘要
1	石田 隆博	出・欠	6	竹内 嘉洋	出・欠
2	小林 佳志子	出・欠	7	山田 廣美	出・欠
3	杉本 真也	出・欠	8	篠宮 尚	出・欠
4	勝部 武	出・欠	9	浦野 和彦	出・欠
5	伊地知 幸子	出・欠	10	石井 常子	出・欠
事務局	梅澤 十三男	生涯学習部長	事務局	石井 広伸	青少年課事業係長
事務局	羽ヶ崎 紀子	生涯学習部副部長兼青少年課長	事務局	森島 啓介	青少年課企画係長
事務局	渡辺 晴美	生涯学習課長	事務局	鈴木 勉	生涯学習課社会教育指導員
事務局	室伏 延人	生涯学習課北公民館長	事務局	雨宮 聡子	生涯学習課社会教育主事
事務局	岩崎 和行	青少年課専門指導員	事務局	荒井 真帆	生涯学習課主事
事務局	佐藤 有起	生涯学習課生涯学習係長			

会 議 名		令和5年度 第2回社会教育委員会
議 事	事務局	1. 開 会 (司会進行:雨宮社会教育主事)
		2. 委員長あいさつ (代理:竹内副委員長)
		3. 教育長あいさつ
		4. 議事 (議長:竹内副委員長)
		(1)令和5年度事業中間報告について
		(資料1-1、1-2、1-3、2-1、2-2参照)
		*資料1-1、1-2、1-3、2-1、2-2を説明。
		生涯学習課 (渡辺課長)
		生涯学習課北公民館 (室伏館長)
		青少年課 (羽ヶ崎副部長)
		【質疑等】
	山田委員	北公民館の赤ちゃん広場について、Youtubeで動画を公開している。 コロナで自粛し、活動できていなかった行事が形になってきたのではないかと。 前回の委員会で、事業の周知方法について提案したが、チラシについては デザインが明るくなり、大変見やすくなっていた。また、チラシを多くの 掲示板に貼るなどの対応をしており、気軽に参加しやすくなったと思う。 事業については、事前の準備が大変だと思うが、一市民として感謝を 申し上げるとともに、これからもよろしくお願いいたします。
	勝部委員	三郷高校では、生涯学習課では高校協働講座、青少年課では親の学習で お世話になっている。一点提案があり、1月1日の能登半島地震を受け、子供達に 防災の意識、減災、安全に対する知識を身に付けさせたい。計画段階ではあるが 来年度、学校で避難所運営ゲームを取り入れたいと考えている。 震災時、三郷市内の小中学校が避難所になった際に、様々な事態が想定される。 有事の際の対応・運営についてゲームを通して学んでほしいと考えている。 まずは教職員の中で実施し、その後、生徒に体験してもらおうと考えており、 研修の一環として役立てたいと検討中である。 青少年課では、小学生を対象として災害関係の事業を実施していただいた。 小～高校生も、いざという時に力になれる存在である。三郷高校の生徒にも、 校舎が避難所として開設された際には、地域の方々に還元できる力を 身に付けさせたい。 生涯学習課・青少年課の事業や、地域の方向けの取り組みの中で、 今後起こり得る災害に備えて関連事業があれば三郷高校も積極的に参加したい。 既に来年度事業の予算立ても含め、形が決まっている部分もあるかもしれないが、 再来年度事業としてもご検討いただければと思う。
	伊地知委員	どの事業も興味が湧くものばかりであった。勝部委員のお話を聞いて、非常に 賛成である。民生委員時代、東日本大震災時、運営ゲームをした記憶がある。 是非三郷市全体でできたら良いと思う。ウェルネス操体法や陶芸についても、 とても効果があると伺っているのので、引き続きお願いしたい。
	浦野委員	コロナが5類へ移行し、事業が復活し始めたなという思いである。 放課後子ども教室について、自分はさくらんぼキッズの立ち上げに参加した。 当時のことを思い出すと最初は手探りの中での準備、設立であった。 当時のPTA会長、PTA役員、OBを中心に事業がスタートした記憶がある。 現在桜小に加えて、彦糸小、吹上小の三校にまで普及しているとのことだが、 今後ますます拡大したらありがたいと思う。 青少年課のあつまれみさとの子については、学校行事に参加できない不登校の 児童の体験活動をするは大変重要なことだと思う。このような事業を継続 して欲しい。

会 議 名	令和5年度 第2回社会教育委員会
石井委員	一市民、民生委員として、率直な意見として聞こえてくる意見として、北部は事業が多いが、南部は事業の実施が少ないという意見である。特に高齢者は交通手段が少なく北部へ行くのは難しいため、南部で開催してほしい。町内会の老人会が廃止になっていく中で、話し相手や交流する場が出来てほしいという意見がある。是非南部での実施計画もお願いしたい。
篠宮委員	災害関係で、都のPTA連合会とのやり取りで、PTAのネットワークで災害時に協力できることはないかとの声があり、とても良い案であると思う。有事のためにできることを協力していきたい。しかし、コロナを経て、PTA活動自体が見直されている大変な時期である。災害時にPTAのネットワークとして、小～中学生で約1万人であり、その児童に関わる保護者を含めると大きな人数になる。何かできることはないかと検討中である。 PTAとしては、昨年の11月に、レクリエーション大会を実行した。2月9日には家庭教育講演会がある。講演会を通して、子供と親のコミュニケーションのきっかけになればと思う。 あつまれみさとの子についても、非常に素晴らしい取り組みである。引き続き、継続して行ってほしい。
竹内委員	災害について、前職の大学職員の時に、東日本大震災を経験した。当時、学生や帰宅困難者を校内に受け入れ、1泊したため、運営の大変さが分かる。避難所運営ゲームが三郷高校だけでなく、青少年関係をはじめとした多くの場で協力して実施できればと思う。 二十歳のつどいでは、校長先生方とお話をして、小中学校で実施できなかった行事を、生涯学習関連部の社会教育で受け皿になって継続してほしい。
事務局	(2)その他（佐藤係長） ・令和6年度社会教育委員会関係の日程予定について（情報提供） 現時点での予定を情報提供。 ・5/14 午後 埼玉葛都市社会教育振興総会・研修会（白岡市） ・5/31 午後 埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会（国立女性教育会館・嵐山町）
	5. 閉会（伊地知委員） 以上